

## 編集後記

本号の特集を機に『知的生産の技術』を読み返した。大学1年以來で、引かれた傍線に、もう一人の自分に会うような感覚を覚えた。「情報科」という科目の到来を予言するなど、この本はコンピュータ時代を先取りしていたことに気づかされる。企画展「知的生産のフロンティア」は、時代がやっと追いついた梅棹忠夫の思索の流儀をあらわすものになろう。

昨年、1958年におこなわれた西北ネパール学術探検隊のデータカード約6600枚をアーカイブとして公開した。見出しなどはホームページでも見ることができ、エクセル上で牧畜、祭礼等々の主題ごとに並べ換えもできる。梅棹忠夫の盟友、川喜田二郎がパンチカードで検索するために、カード1枚1枚にHRAFの文化項目分類番号を付しておいてくれたおかげだ。この先、手作業の分類も人工知能がやってくれる時代がくるのだろうか。

今号から新たな連載「世界のバスケットリー×バスケットリーの世界」が始まった。籠だけでなく、植物の線状物を用い、編み・組みの技法で作られたものが扱われるという。産業革命は織機から始まったが、パンチカードもそこから派生したものだ。人類の英知バスケットリーと知的生産は、規格化という点で深いところまでつながっている。(南真木人)

●表紙：「梅棹忠夫アーカイブス・クルーズ」で見るB6カード  
 (制作：阿辺川武)

## 次号の予告

特集  
**「釣り」(仮)**

## みんぱくをもっと楽しみたい方のために 国立民族学博物館友の会のご案内

友の会は、みんぱくの活動を支援し、博物館を楽しく積極的に活用するためにつくられました。  
 毎月『月刊みんぱく』をお届けするほか、さまざまなサービスをご用意しております。

### 維持会員・正会員

『月刊みんぱく』の送付／友の会機関誌『季刊民族学』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加／研究者同行の国内外研修旅行への参加 など

### ミュージアム会員

『月刊みんぱく』の送付／本館展示の無料観覧／特別展観覧料の割引／友の会講演会への参加 など

繰り返し入館できる**みんぱくフリーパス**や、学校・学部単位で利用できる**キャンパスメンバーズ**など各種会員種別もご紹介します。目的にあわせてご利用ください。

詳細は、一般財団法人千里文化財団までお問い合わせください。  
 (電話 06-6877-8893 / 平日9:00～17:00)



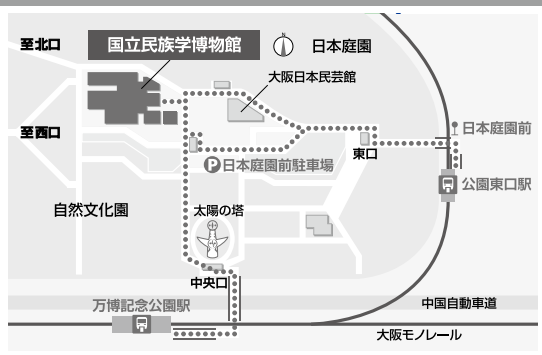
## 月刊みんぱく 2020年4月号

第44巻第4号通巻第511号 2020年4月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 国立民族学博物館  
 〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1  
 電話 06-6876-2151

発行人 園田直子  
 編集委員 南真木人(編集長) 上羽陽子 齋藤晃  
 菅瀬晶子 三島禎子 吉岡乾  
 デザイン 宮谷一欒 長岡綾子  
 制作・協力 一般財団法人千里文化財団  
 印刷 能登印刷株式会社

\*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。  
 \*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



### 交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通ください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんぱくホームページ

<https://www.minpaku.ac.jp/>

みんぱくフェイスブック

<https://www.facebook.com/MINPAKU.official>

みんぱくツイッター

<https://twitter.com/MINPAKUofficial>

みんぱくインスタグラム

<https://www.instagram.com/MINPAKUofficial/>

みんぱくYouTube

<https://www.youtube.com/user/MINPAKUofficial>